

## 「床塗料シリーズ 密着!! コンクリには」塗装仕様

### 【材料一覧表】

商品名	材料	希釈
床塗料シリーズ 密着!! コンクリには	二液型ポリアミド硬化型エポキシ樹脂塗料	専用レデュサーを使用し、最大5%
Eプレデュサー	エポキシ専用シンナー	-

### 【床塗装工程】

(20℃, 60%RH)

素地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新設のコンクリート場合、表面に付着しているエフロ(白い粉)をペーパーやワイヤーブラシで除去して下さい。</li> <li>・コンクリート表面が鏡面仕上げ(ツルツル)の場合、ペーパーやマジックロン等で目荒らしをして下さい。</li> <li>・旧塗膜が完全に剥がれ素地が露出している部分、剥がれの恐れがある部分はスクレーパー・剥離剤などで塗膜を完全に除去して下さい。</li> <li>・旧塗膜の活膜部分は、表面を目荒らしして頂ければそのままでも結構です。ただし、シンナーで溶ける場合は完全に除去して下さい。</li> <li>・表面に油脂が付着している場合は脱脂作業を行ってください。浸み込んで脱脂しきれない場合は、「床塗料シリーズ 密着!!油まみれでも」を御使用ください。</li> <li>・表面に水分が残っている場合、パーナー等で加熱し、十分に乾燥をとってください。</li> <li>・フェロコンやカラーコンクリートの場合は研磨機による表面研磨を行ってください。(※1)</li> <li>・素地調整の後、塗装の直前には、必ずシンナーもしくはアルコール等で脱脂を行うようにして下さい。</li> </ul>									
塗装	商品名	塗回数(回)	色相	混合比率(重量比)	希釈率(重量比)	塗装方法	塗布量(g/m <sup>2</sup> ) (1回塗り)	乾燥膜厚(μm) (1回塗り)	指触乾燥(※2)	最終養生(※3)
	床塗料シリーズ 密着!!コンクリには	1~2	10色(カタログ参照) その他調色対応可	主剤 1 硬化剤 1	0-5%	ローラー 刷毛	250~300	120-150	3h	8h

※1: フェロコン、カラーコンクリートの場合は、ご使用前に電話でお問い合わせください。

※2: 塗り重ねが可能な時間です。基本は1回塗りですが、コンクリート表面の状態によっては塗料を吸い込みやすい場合があります。その際は一度捨て塗りをして、指触乾燥後に2回目の塗装をするとツヤのある仕上がりになります。

※3: 人が通行可能な時間です。車やフォークリフト等の重量物の通行の際には24時間以上の乾燥時間を取るようお願いします。

※2-3: 気温20℃での目安になります。現場環境(気温、湿度、床面の状態、など)によって、時間は前後します。

### 【使用方法】

- 1) 使用する前に主剤・硬化剤それぞれを電動工具で混合し、沈殿物が無くなり、粘度が均一になるまで攪拌して下さい。
- 2) 主剤と硬化剤を重量計で規定の割合(1:1)で計測し、攪拌機等で3~5分よく混ぜ合わせて下さい。
- 3) 希釈は推奨しておりませんが、作業状況に応じて5%を限度に当社Eプレデュサーを使用し希釈してください。
- 4) 塗装はローラー・刷毛を使用してください。コンクリート素地面に押し付けて、塗料が表面にしっかり入り込むように塗装してください。
- 5) 滑り止め(ノンスリップ)加工を行う場合は、塗料の重量の20%を目安に珪砂を入れてよく混ぜます。珪砂は4~5号、ローラーは中毛以上が推奨です。珪砂は沈殿しやすいため、塗装する際はバケツ内の塗料をローラーでよく攪拌して下さい。珪砂を入れた場合、塗布量が1~2割程度増加します。
- 6) 使用後の容器・工具類は専用レデュサー又は洗浄用シンナーで洗浄して下さい。

### 【使用上の注意】

- 1) 天候の良い日を選び、被塗面に結露(水分)が無いかを確認してから作業をするようにして下さい。(気温5℃以上、湿度80%以下)  
水分があると塗膜表面のツヤ落ち(白化現象)の原因となります。気温が極端に低い(5℃を下回る)場合、硬化不良を起こす可能性があります。
- 2) 塗料は常温で1時間(夏場30分、冬場2時間)以内で使い切れる量を混合して下さい。時間が経って粘度が上がった塗料を希釈するのはお控え下さい。
- 3) 希釈には弊社のEプレデュサーを御使用下さい。他社のエポキシシンナーを使用されると、塗料の分離や硬化不良の原因となります。
- 4) 屋外および日光にさらした場合、黄変、色あせ、チョーキングが起こる場合がありますが、密着性に悪影響を与えるものではありません。
- 5) 低温時(気温5℃未満)では、主剤と硬化剤の反応が極端に遅くなり、べた付きや色分かれの原因になる場合がございます。  
その場合は、主剤と硬化剤を混合した後、15分以上の熟成時間(反応させるために混合容器内で放置する時間)を置いてから塗装してください。  
熟成が進み過ぎて粘度が上昇し、塗装し難い場合はレデュサーを5%程度混合してください。

# 髹染めQテクノロジー

〒306-0313 茨城県猿島郡五間町元栗橋5971

TEL.0280-80-0005 (代) FAX.0280-80-0006 (代)

E-mail:support@somayq.com http://www.somayq.com